

旧松井家屋根葺き:10月29日、秋の一斉茅刈り:11月12日、重伝建40周年記念事業:12月18日！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成28年10月号

荻町重伝建40周年記念・事前学習会第2弾！！

去る9月28日と30日に、白川郷学園を会場に、みだしの事前学習会第2弾を開催しました。前回同様小学校5年～中学3年生を対象とし、『どぶろく祭り』をテーマに、神職の神田将成氏、杜氏の川田晋也氏にお話をいただきました。「せっかくのお話を荻町の子どもたちだけに留めておくのは惜しい」との想いから、今回は学校運営協議会学校支援部が行う「白川びとから学ぶ」の事業とコラボし、守る会との共同開催が実現しました。お2人のわかりやすく熱い語りから、お祭りに対する正しい知識やどぶろく製造のご苦労、それらの仕事にける想いや志、多くの方々の支えによって祭りが成り立っていることを学ばさせていただくことができました。事前学習にご支援くださいましたお2方、共催にご理解くださいました学校及び同協議会に感謝申し上げます、以下にお話の一部を掲載いたします。【文責：尾崎】

◎9月28日昼休み、テーマ:「どぶろく祭りの慣わし」 講師:神田 将成氏

- ・日本には沢山の神様がおみえになる。自然の神様や歴史上の人物の神様、そして、地域の方々や家族をお守りくださる氏神様がおみえになる。
- ・神社は神様に感謝を捧げる場所であり、お祭りは感謝を表す行為。どぶろく祭りは、一番大切な例祭にあたる。どぶろくをいただくことは神様が口にされたものをいただくことであり、とてもありがたいこと。
- ・獅子は神聖な動物で、村回りの時に神様の道を開く役目がある。獅子取りは、その獅子をあやす役目をもつ。稚児も鬨鶏楽も民謡も、お祭りに欠かせない大切な仕事。氏子の皆様のご奉仕で祭りは成り立っている。
- ・多くの子供たちが、お祭りに参加くださることに感謝。当日だけでなく、練習期間も通して、多くの住民と親しくなり絆を深めて欲しい。
- ・お祭りの礼儀作法を学び、大いにお祭りを楽しんで欲しい。



◎9月30日昼休み、テーマ:「私が杜氏を志したワケ」 講師:川田 晋也氏

- ・どぶろくは、水が冷たくて雑菌が少ない1月に仕込む寒造り。杜氏の3人と氏子総代、鍵取当番のお手伝いを得て仕込む。
- ・仕込んだ後は杜氏が毎日タンクをかきまぜ発酵を促進する。温度管理と雑菌を混入させないことが大事で、作業期間は納豆厳禁。
- ・氏子総代会長の声かけで杜氏に。地域に奉獻できることが誇り。
- ・お祭りにいただく新鮮などぶろくは、最高に美味しい。平瀬から木谷、荻町、鳩谷、飯島と、それぞれの神社のどぶろくを飲み比べるのも楽しみのひとつ。おいしいどぶろくの一番の隠し味は、「地域を想う気持ち」。皆さんと一緒に飲み交わす日を楽しみに。



現状変更申請の審議に思う・・・ 伝建地区内の外観を変える場合は、必ず教育委員会に申請を出し、許可が必要です。荻町の場合はその前に守る会で審議し、可否の意見を添えて教育委員会に提出します。教育委員会では、その意見を尊重して決定をくださいます。時に審議では、住民の方々に我慢を強いる決断をしなければならない場面もあり、心を痛めます。特例をつくらず、公平性を保ち、過去の事案と比較検証し、時には英断も必要。申請者の心情に配慮しつつも、守るべき景観は守りぬく信念。悪い先例は許さず決められたルールは守る毅然とした姿勢。委員の皆さんの熱い議論から導き出す、冷静かつ確かな判断。委員の総意こそが、住民が住み続けることと景観保全の両面を支える最後の砦であると感じています。住民皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。【文責：会長和田】

全国町並みゼミ 大内・前沢大会に参加！！

9月9～11日の3日間、福島県内重伝建地区である大内宿並びに前沢集落を会場に、みだしの会が開催されました。守る会を代表して和田が参加しましたので、以下にその概要を報告いたします。

◎第1日目

メインは開会式後の「対談」。『町並みを次の世代へ』をテーマに、開催地を代表して大内宿保存会の吉村徳男氏と守る会を代表して和田の2人が登壇。北海道大学の西山徳明教授が聞き手となり1時間にわたる対談を。吉村氏からは、屋根の葺き替えが住民の負担とならないよう資材や備品の貸し出しや茅の確保、次代を担う屋根葺き職人の育成に力を入れてきたお話が。和田からは、守る会の概要と主に交通対策に関わる取り組みについて、先輩方の継続的な取り組みや住民の決断についてお話ししました。西山教授からは、「地域には熟成させないといけない時間がある。白川郷は時に混乱しながらも心をつなげて課題を共有し、時間をかけて内部で話し合い説得し、行政も一生懸命対応し、解決に至ったその過程がすごいことである」と高評をいただきました。

その後、開催地・各地からの報告、東海ブロック会議、歓迎交流会に参加し、多くの参加者の方々と親交を深めました。

◎第2日目

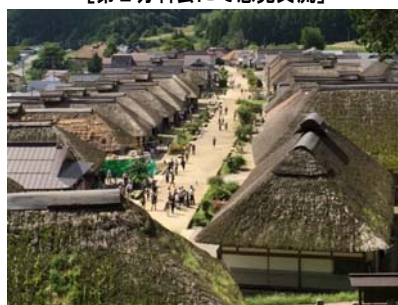
午前中は、大内宿を町並み散策し、午後より分科会へ。和田は第2分科会のコーディネーターを務めました。『人が住み続けられるまち』をテーマに、パネラーの大内宿吉村氏、竹富集落阿佐伊氏、加賀東谷二枚田氏より事例発表の後、質疑・討論に。「町並み保存は地域文化の伝承から」「住民をつなぐ祭りの力」「自分たちが楽しむ」「地域外の人材」「次代を担う子どもたちの育成」「衣食住の文化をみがくことが観光」「保存という開発」等々、パネラーや参加者より沢山のご意見が。さらに歓迎交流会でも、熱い議論と交流が繰り広げられました。

◎第3日目

全体会・閉会式の後、曲家のある前沢集落を見学して帰路へ。同じ茅葺き屋根をもつ集落を会場に、地元住民の方々、特に若い方々と交流できたこと、次代へつなぐヒントを沢山いただけたことが大きな成果となりました。次年度は、名古屋有松にて開催となります。



【第2分科会にて意見交流】



【伝建地区大内宿の町並み】



【曲家のある前沢伝建地区】

【文責：和田】

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 9月の活動報告 ＝

- 9月 5日 山梨大学ヒヤリング(会長)
- 9月 6日 荻町交通対策委員会、茅刈り打合せ(役員他)
- 9月 8日 8月定例会・役員会
- 9月 9日 全国町並みゼミ大内前沢大会(～11日、会長)
- 9月 12日 ねそ8月号配付、現状変更に関わる説明話合
- 9月 17日 西村幸雄町並み塾 in 三国(会長)
- 9月 28日 40周年記念事業 事前学習会(役員、学校)
- 9月 29日 白川郷バスターミナル竣工式(会長)
- 9月 30日 40周年記念事業 事前学習会(役員、学校)

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

※ 11月の定例会は、10日(木)公民館にて開催を予定しています。

☆10月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

- *****住宅の解体
- *****住宅自販機の移動
- *****自宅雨戸取替え及び浴室窓に格子

※10月の組寄せにて、旧松井家屋根葺き、秋の一斉茅刈りへの参加最終確認をお願いします。各組守る会委員にお知らせ下さい。各組委員は10月16日(日)までに、和田へ報告をお願いします。